

学校教育目標	・自分で作くる丈夫な体 ・自分で取り組む確かな学習 ・自分で深める温かく強い心 ・みんなで築く楽しい生活
目指す学校像	教育目標が児童の日々の生活に目に見える姿として表れている学校
目指す児童像	教育目標が日々の学校生活に目に見える姿として表れている児童
目指す教師像	教育への使命感と責任のもと、協働と研鑽で充実した教育を推進する教師集団

○令和6年度 学校経営計画における重点内容 日本社会に根ざしたウェルビーイングの向上を図る（第4期教育振興基本計画より） ・教育目標が児童の日々の生活に目に見える姿として表れている学校（自己実現 幸福感） ・心の通い合う温かさがあり、明るく清潔で安全な教育環境をつくり出す学校（安全安心な環境） ・教育機能発揮に向けて、保護者や地域、関係者と連携して児童を育む学校（学校や地域でのつながり） ・教育への使命感と責任のもと、協働と研鑽で充実した教育を推進する学校（教職員のウェルビーイング）

項目	取組目標	具体的方策	取組指標		評価	成果指標		分析	改善方策	学校関係者評価		
										自己評価	改善方策	意見等
各教科指導等	「学びに向かう力」を発揮させる授業を実施し、確かな学力を育成する	「学びに向かう力」を発揮させる手立てを設定した授業観察と事後指導を全教員に年間2回以上実施する	4	学びに向かう力を発揮させる授業の実施 100%	3	4	学校独自の学力調査の目標値達成率 80%以上	4	・昨年度までの校内研究の成果を活かして、主体的に学習に取り組む態度の発揮を中心に授業に取り組むことができた。 ・粘り強さや自己調整等情意面の見取りが難しい。	B	B	算数少人数の時間について、人数が多いグループなど少人数指導のよさが感じられない場合がある。
			3	学びに向かう力を発揮させる授業の実施 80%以上		3	学校独自の学力調査の目標値達成率 70%以上					
			2	学びに向かう力を発揮させる授業の実施 60%以上		2	学校独自の学力調査の目標値達成率 60%以上					
			1	学びに向かう力を発揮させる授業の実施 60%未満		1	学校独自の学力調査の目標値達成率 60%未満					
	高学年の教科担任制と低中学年の交換授業を中心に、授業力・専門性の向上を図る	交換授業年間2回以上、授業力や専門性の向上を図る教員研修を年間3回以上実施する	4	交換授業、教員研修の実施状況 100%	3	4	教員アンケート肯定的回答 80%以上	4	・高学年の教科担任制と低・中学年の交換授業の実施は、4年目を迎えて定着し、専門性の向上が図られている。 ・教員研修は、国語や体育など教科に偏りがあった。	A	A	概ねよい。
			3	交換授業、教員研修の実施状況 80%以上		3	教員アンケート肯定的回答 70%以上					
			2	交換授業、教員研修の実施状況 60%以上		2	教員アンケート肯定的回答 60%以上					
			1	交換授業、教員研修の実施状況 60%未満		1	教員アンケート肯定的回答 60%未満					
	カリキュラム・マネジメントに基づき、学習発表会を実施し、学習の成果を発表する	地域及び外部人材を招いて年間6回以上授業を行う	4	外部人材等による授業実施状況 100%	4	4	保護者アンケート肯定的回答 80%以上	4	・1年間の学習の成果や地域人材や外部人材による授業等を活かして、学習発表会を実施した。 ・発表内容や方法がタブレット端末を活用したものに偏る傾向がある。	A	A	地域に人材が豊富なので学習内容に合った人材を紹介していきたいので、いつでも相談してほしい。
			3	外部人材等による授業実施状況 80%以上		3	保護者アンケート肯定的回答 70%以上					
			2	外部人材等による授業実施状況 60%以上		2	保護者アンケート肯定的回答 60%以上					
			1	外部人材等による授業実施状況 60%未満		1	保護者アンケート肯定的回答 60%未満					
生活指導等	いじめ、不登校の予防・解決に向けて組織的な取組を行う	生活指導部会（毎月）と生活指導情報交換会（毎週）を行い、課題解決を図る	4	教員アンケート肯定的回答 100%	3	4	保護者アンケート肯定的回答 100%	3	・不登校について、SCとの関わりから別室登校や登校復帰につながったケースが見られた。 ・いじめの認知について、学校全体での共通理解を図る必要がある。	B	B	いじめの早期発見・解決についての学校の取組がもう少しわかりやすく伝わるとよい。
			3	教員アンケート肯定的回答 80%以上		3	保護者アンケート肯定的回答 80%以上					
			2	教員アンケート肯定的回答 60%以上		2	保護者アンケート肯定的回答 60%以上					
			1	教員アンケート肯定的回答 60%未満		1	保護者アンケート肯定的回答 60%未満					
	全学級で、児童が進んで考える道徳授業を確実に実施し、基本的な生活や社会習慣、人間関係づくりのための心の教育等に取り組む	道徳推進教師による道徳だよりを年間6回以上発行する	4	道徳だよりの発行状況 100%	4	4	保護者アンケート肯定的回答 100%	3	・道徳推進教師が定期的に道徳だよりを発行し、道徳科の時間の学習の様子やねらいとする価値に関する児童の考え等を共有した。	B	B	概ねよい。
			3	道徳だよりの発行状況 80%以上		3	保護者アンケート肯定的回答 80%以上					
			2	道徳だよりの発行状況 60%以上		2	保護者アンケート肯定的回答 60%以上					
			1	道徳だよりの発行状況 60%未満		1	保護者アンケート肯定的回答 60%未満					
	安全教育、安全指導を計画的に実施し、危機回避能力の育成や子供の安全を確保するための取組等を行う。	全学級で安全教育プログラムや東京マイ・タイムラインを活用した授業を年間2回以上実施する	4	授業の実施状況 100%	4	4	保護者アンケート肯定的回答 100%	3	・避難訓練の実施方法について生活指導部担当を中心に直しを図った。 ・改築工事の影響を考慮し、2次避難場所への避難訓練の時期を早めた。	B	B	改築工事の本格化に伴って、防災面や防犯面できめ細かい配慮が必要である。
			3	授業の実施状況 80%以上		3	保護者アンケート肯定的回答 80%以上					
			2	授業の実施状況 60%以上		2	保護者アンケート肯定的回答 60%以上					
			1	授業の実施状況 60%未満		1	保護者アンケート肯定的回答 60%未満					

項目	取組目標	具体的方策	取組指標		成果指標		分析	改善方策	学校関係者評価				
				評価		評価			自己評価	改善方策	意見等		
学校 の 管理 運営	各教員が学校経営方針に基づいた目標管理を行い、組織的な教育活動・学校運営等を図る	学校経営方針を明示し、自己申告の具体的な目標設定について全教員とヒアリングを行う	4	学校経営方針の実現状況　１００％	3	4	教員アンケート肯定的回答　１００％	3	・年間３回のヒアリングを適正に行い、各教員の目標設定・目標管理を進め、学校運営力・組織貢献力を高めたことで、より組織的な学校経営を図ることができた。	・改築工事による学校経営上の課題を整理し、共通理解を図って、教職員の力を結集してよりよい学校経営を進める。	A	A	概ねよい。
			3	学校経営方針の実現状況　８０％以上		3	教員アンケート肯定的回答　８０％以上						
			2	学校経営方針の実現状況　６０％以上		2	教員アンケート肯定的回答　６０％以上						
			1	学校経営方針の実現状況　６０％未満		1	教員アンケート肯定的回答　６０％未満						
	子供の実態に合わせた教育目標設定及び学校評価等を適切に行う	前期末の中間評価と年度末評価を実施しＰＤＣＡサイクルによる課題解決を図る	4	適切な学校評価の実現状況　１００％	3	4	教員アンケート肯定的回答　１００％	3	・中間評価と年度末評価のサイクルによる学校評価によって年度途中においても臨機応変に課題への対応が図られた。	・副担任制をさらに充実させ、担任・副担任が連携して教育目標が具現化された児童の姿を見取り価値付ける児童への関わりをきめ細かく行う。	B	B	概ねよい。
			3	適切な学校評価の実現状況　８０％以上		3	教員アンケート肯定的回答　８０％以上						
			2	適切な学校評価の実現状況　６０％以上		2	教員アンケート肯定的回答　６０％以上						
			1	適切な学校評価の実現状況　６０％未満		1	教員アンケート肯定的回答　６０％未満						
適切な教育活動が行える教育環境・設備等を整える	学校改築工事の打ち合わせを毎週行い、安全な学習環境を確保する	4	改築工事打ち合わせの実施状況　１００％	4	4	教員アンケート肯定的回答　１００％	3	・改築工事により、年度途中に学校経営上の課題が生じることがあった。	・年度当初に、改築工事による学校経営上の課題を想定し、教育委員会各課との連携を図ってよりよい学校経営を進める。	B	B	概ねよい。	
		3	改築工事打ち合わせの実施状況　８０％以上		3	教員アンケート肯定的回答　８０％以上							
		2	改築工事打ち合わせの実施状況　６０％以上		2	教員アンケート肯定的回答　６０％以上							
		1	改築工事打ち合わせの実施状況　６０％未満		1	教員アンケート肯定的回答　６０％未満							
家庭・ 地域 連携	教育活動の意図的・計画的・積極的な発信や公開を行い、教育方針や日常的教育活動の様子などを工夫して分かりやすく伝える取組等の充実を図る	学校公開（年２回）、保護者会（各学年３回）、学校説明会、学校だより、ホームページ等による定期的な情報発信を行う	4	情報発信及び公開の実施状況　１００％	4	4	保護者アンケート肯定的回答　１００％	3	・ホームページの更新回数を増やし、学校行事や教育活動の様子を発信した。 ・コクウの活用により、学校だよりや学年だより等の学校情報を迅速・確実に発信した。	・学校だよりと学年だよりの統合を図り、学校情報の重複を改善することでよりわかりやすい情報の発信を行う。	B	B	配布物の種類が多く、情報の重複などが生じている。
			3	情報発信及び公開の実施状況　８０％以上		3	保護者アンケート肯定的回答　８０％以上						
			2	情報発信及び公開の実施状況　６０％以上		2	保護者アンケート肯定的回答　６０％以上						
			1	情報発信及び公開の実施状況　６０％未満		1	保護者アンケート肯定的回答　６０％未満						
	保護者・地域の声を生かした学校経営を行い、保護者や地域の理解や協力を得た教育活動を推進する	毎月のＰＴＡ役員会や年間３回の学校運営連絡協議会を行う	4	役員会や学校運営連絡協議会の実施状況　１００％	4	4	保護者アンケート肯定的回答　１００％	3	・ＰＴＡ役員会において、ＰＴＡ運営の課題を整理し改善策を検討した。 ・学校運営連絡協議会では昨年に引き続き給食の試食を行った。	・次期ＰＴＡ役員の推薦方法について引き続き検討していく。	B	B	概ねよい。
			3	役員会や学校運営連絡協議会の実施状況　８０％以上		3	保護者アンケート肯定的回答　８０％以上						
			2	役員会や学校運営連絡協議会の実施状況　６０％以上		2	保護者アンケート肯定的回答　６０％以上						
			1	役員会や学校運営連絡協議会の実施状況　６０％未満		1	保護者アンケート肯定的回答　６０％未満						
				4			4						
				3			3						
				2			2						
				1			1						

○令和６年度　学校経営報告のまとめ（総括）

・教育課程に基づいて組織的・計画的に教育活動の質の向上を図ることができた。

・カリキュラム・マネジメントを校内研究の柱に据えたことで、各教科指導の充実が図られた。

・教科担任制と副担任制により、いじめや不登校をはじめ生活指導上の課題等に関する組織的な対応が一層図られた。

・改築工事による学校教育への影響や課題に素早く対応し、保護者や地域との情報共有によって改善を図った。